

1学年通信 Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校
1学年 第23号
2015.9.18 (金) 発行

海外での仕事を少し身近に感じてみませんか？

坂野雄大先生の体験談を聞こう！！

「たった1度の人生だから in パプアニューギニア」



私は大学院卒業後 2011年から2013年までの2年間、青年海外協力隊員としてパプアニューギニアという開発途上国で教員をしていました。日本とは全く違う環境で異文化に触れ、日本では味わえない数多くの経験をさせて頂きました。今回このような素敵な機会を頂けたということで、みなさんの今後の勉学へのモチベーションに繋がるような有意義な時間にしたいと思っています。試験勉強期間ではありますが、息抜きも含め気軽に参加してもらえると幸いです。

- ✦ 日時 平成27年9月24日(木)
自治会・応援団・文化祭実行委員長選挙終了後 約60分
- ✦ 場所 講堂
- ✦ 参加対象 1年生、2・3年生 理科系の希望者(文系の人でもう一度聞きたい人もどうぞ)
海外で働くことに興味のある人、自分の専門を活かす場所を広げたい人
人生経験として海外に行ってみたい人、坂野に興味のある人(笑) 誰でもOKです

↑ 何と当日、遠くパプアニューギニアから坂野先生のお父さん(のような存在の男性)が来日されることになりました。これは「パパはニューギニア」というギャグではありません。その方も必見ですね！！



米沢興譲館高等学校創立129周年記念
講演会

演題

『自分に向き合って肯定的に生きる』



日時 平成27年9月19日(土)
開場 9時55分
開演 10時20分
場所 米沢興譲館高等学校 講堂
(講堂入口よりお入り下さい)
スリッパをご持参下さい。

講師
株式会社小嶋総本店代表取締役社長
山形県教育委員
山形県酒造組合副会長・米沢観光物産協会会長
上杉謙山公と郷土の先人を顕彰する会 会長
こじま やざえもん

小嶋彌左衛門 氏

プロフィール
略歴昭和23年(1948年)12月生まれ
昭和42年 米沢興譲館高校卒業
昭和47年 慶應義塾大学法学部卒業
社団法人中部産業連盟所員(1年間)
昭和48年 株式会社小嶋総本店 専務取締役就任
国税庁醸造試験所で酒造研修
平成元年 株式会社小嶋総本店 代表取締役社長就任
酒造資料館東光の酒蔵 館長就任
平成19年 第23代小嶋彌左衛門を襲名

『東光』の名で知られる小嶋総本店は、今年で創業418年になります。『東光』のお酒は、今年5月におこなわれた全国新酒鑑評会では、7年連続で金賞を受賞。さらに、海外の様々な酒類のコンテストでも金賞を受賞され、世界から高い評価を受けています。現在米沢を代表して、地域の伝統をしっかりと守りながら、積極的に世界に向かって発信・挑戦していらっしゃいます。

*参加ご希望の方は、下の点線から切り離しお子さんを通じ、9月16日(火)まで、緑葉寮竹田までご提出ください。

キ リ ト リ

9月19日(土) 米沢興譲館高等学校創立129周年記念教育振興会事業

記念講演会参加申込書

参加保護者氏名 ()、()
(生徒 年 組 氏名)

<興讓館の歴史・江戸時代篇 1>

- 和暦(西暦).月
- 元和 4(1618) .7 直江兼統、学問所禅林文庫設立。
- 元和 5(1619) .12 直江兼統没。60 歳。
- 寛永 13(1636).2 上杉定勝、佐野玄誉を儒職として招聘
- 慶安 3(1650) 北島瑞伯、儒医職兼帯として上杉綱勝に仕える
- 寛文 4(1664) .5 三代藩主綱勝急逝、吉良義央長男三郎を嗣子として迎え上杉家の名跡存続するも 15 万石に削封。
- 寛文 9(1669) 矢尾板三印、儒医職兼帯として出仕
- 元禄 3(1690)五代将軍綱吉、儒学の振興を図るため湯島の地に聖堂を創建
- 元禄 10(1697).6 四代藩主綱憲、学問所を建立
- 元禄 10.11 聖堂(感麟殿)を造営 主宰矢尾板三印。
- 宝暦 3(1753) .12 上野東叡山根本中堂修理、仁王門再建工事手伝いを命じられる。(総工費 57,457 両余(領内、越後、上方の豪商より 12,460 両借財)
- 宝暦 5(1755)奥羽地方大凶作。
- 宝暦 6(1756) .8 米沢地方大飢饉、松川中河原において飢饉者に粥を施す。一日 1300 人に及ぶ。
- 宝暦 10(1760)秋月種美二男直松(鷹山)、上杉重定の養子となる。
- 宝暦 11(1761).1 上杉重定、細井平洲を招き聴講
- 宝暦 13(1763).2 竹俣当綱ら、二の丸会談所において森平右衛門利直を誅殺、君側の奸を除く。
- 宝暦 14(1764).1 藩主重定、版籍返納を岳父徳川宗勝(尾張藩主)に諮る。
- 明和元(1764).11 藁科松伯の推挙で細井平洲 (3 7 歳)、世子直丸(鷹山 1 4 歳)の師範となる。
- 明和 4(1767) .4 重定隠居、治憲(17 歳) 家督を継ぐ。
- 明和 4.9 治憲、自ら大俵の行として一汁一菜を実施、奥女中 5 0 余人を 9 人に減員
- 明和 4.12 大俵令布達。
- 明和 6(1769) .8 藁科松伯貞祐没。33 歳。
- 明和 7(1770) .5 竹俣当綱、学館設立を発議。
- 明和 8(1771) .5 細井平洲米沢下向(第一次)。松桜館(興讓館の前身)において諸生 18 人に教授。神保綱忠(蘭室)松桜館長として平洲を補佐。
- 安永元(1772).2 江戸大火、上杉家桜田・麻布両邸類焼。
- 安永元.3.26 治憲 、藉田の礼執行
- 安永 2(1773) .7 七家騒動(保守派重臣七人の改革反対の直訴事件)
- 安永 4(1775) .12 荏戸善政を御用掛に任命、学館建設を開始。
- 安永 5(1776) .5.19 学館落成、細井平洲《興讓館》と命名。定詰勤学生 20 名、片山一積・神保綱忠を提学に任命。
- 安永 5.9.13 細井平洲、米沢下向(第二次)興讓館の学制を定め、『管子』弟子職の中の[学則]を揮毫。学館において書経を講じ奉行以下諸役人聴講する。
- 天明 2(1782) .10 竹俣当綱、罷免隠居押込みに処される。
- 天明 3(1783)冷害のため諸国大飢饉、奥羽地方の死者多数。
- 天明 3.11 荏戸善政、辞職、隠居。

- 天明 4(1784) .7 藩主治憲備荒貯蓄 20 年計画を定める。
- 天明 5(1785) .8 治憲、治広に人君の心得三力条(伝国の辞)を贈って隠居。35 歳。
- 天明 5.8 治憲揮毫の「先聖殿」扁額を興讓館聖堂に掲額。
- 天明 6(1786)米沢を含め諸国大凶作、藩財政逼迫。
- 天明 7(1787) .7 財政逼迫のため提学神保綱忠を罷免、諸生 20 人を 12 人に減員。
- 寛政元(1789).4 籍田の礼を再興。
- 寛政元.7 神保綱忠提学復帰、諸生も 20 人に復帰。(この頃治憲の侍医堀内易庵の嫡子忠明、内村直則ら杉田玄白師事に続き、堀内忠明、宮崎元長、大槻玄沢の芝蘭堂入塾。米沢蘭学事始め)
- 寛政 2(1790)寛政異学の禁(幕府、朱子学以外の学派を講ずることを禁止)
- 寛政 3(1791) .1 人材登用を断行。
- 寛政 3.5 中老荏戸善政、長期財政再建計画発表(「寛三の改革」)
- 寛政 4(1792) .7 平洲門人高山彦九郎米沢来遊、興讓館の諸士とも対談。
- 寛政 4.8 本草学者佐藤平三郎(成裕)を招き、薬草の栽培・製薬の方法を学ばせる。
- 寛政 5(1793) .4 竹俣当綱没、行年 6 5 歳
- 寛政 5.11 御国産所内に医学校(好生堂)設立、平田道宣を会頭に任じ、傍に薬草園造成。
- 寛政 6(1794) .1 世子顕孝(治憲の実子)天然痘にかかり江戸白銀邸で死亡。行年 19 歳。
- 寛政 7(1795) .6 黒井堰」完成。
- 寛政 7.9 天然痘大流行、防疫のため江戸より津江柏寿を招き医療対策を講ず。患者数 8,389、夭折者数 2,064。
「友干堂」改制。総裁職の「読長」を設置。通学生指導の徹底を図る。
- 寛政 8(1796) .8 神保綱忠、興讓館督学就任。
- 寛政 8.9 細井平洲(尾張藩明倫堂督学)三たび米沢下向、治憲、関根普門院に郊迎。平洲 69 歳、治憲 46 歳。
- 寛政 9(1797)幕府、直轄学校として「昌平坂学問所(通称『昌平校』)」を開設
- 寛政 10(1798).6 学館主事服部吉弥(豊山)の建議で童生の試験を実施。
- 寛政 11(1799).4 旧片山邸の友干堂を興讓館構内に移し、友干堂を博習・敬業・弁士の三局とする。
- 寛政 11.8 治憲三日間学館に赴き諸生・寄塾生・友干堂助生・上座生の試業に臨席。
- 寛政 12(1800) 藩主治広、興讓館の教育について細井平洲に諮問。

